

被災者健康支援連絡協議会
構成団体 各位

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎
(公印省略)

防災推進国民大会 2024 の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本職が議員として参画しております防災推進国民会議(議長 清家篤 日本赤十字社社長)が主催者の一員となり、「防災推進国民大会 2024 (ぼうさいこくたい 2024)」が 10 月 19 日(土)、20 日(日)に熊本県熊本市の会場とオンライン上にて開催される予定です。

本大会では、国民や多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関するシンポジウムや展示等が行われるとともに、上記の通りオンラインでの出展も行われます。

本会といたしましては、下記の通りオンラインでシンポジウムセッションを出展します。アーカイブとして YouTube の公益社団法人日本医師会公式チャンネルにも掲載予定ですので、ご覧いただけますと幸いです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下会員等への周知方につきご高配のほどよろしくお願い申し上げます。また医療関係者だけではなく、一般の方々へもご周知いただけましたら幸甚に存じます。

記

◆防災推進国民大会 2024 (ぼうさいこくたい 2024)

開催日：10 月 19 日(土) 10:30~18:00

10 月 20 日(日) 10:30~15:30

会場：熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場

H P： <https://bosai-kokutai.jp/2024/>

本会出展：セッション(オンライン) …10 月 19 日(土) 14:30~16:00 (予定)

YouTube の公益社団法人日本医師会公式チャンネルにも掲載予定

主催：防災推進国民大会 2024 実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

参加費：入場無料

日本医師会セッションページ：<https://bosai-kokutai.jp/2024/so7/>

防災推進国民大会 2024 日本医師会セッション
地域に根ざした医師会活動プロジェクト 第3回シンポジウム
「令和6年能登半島地震～被災地に寄り添った医療支援とは？」

趣旨

日本医師会では、東日本大震災以降、「被災地に地域医療を取り戻す」ことを目的に、日本医師会災害医療チーム（JMAT）の活動を行ってきました。

被災地の復旧・復興の過程には長い期間がかかるため、災害急性期以降、息の長い支援が必要となります。また、発災から復旧・復興までの過程では、支援体制だけでなく、被災地側の受援体制も重要となります。

今回は、令和6年能登半島地震で支援を行った北海道医師会及び富山県医師会、そして被災地の医師会として活動するとともに、全国からの支援を受け入れた石川県医師会から、今後の大規模災害を見据え、今回得られた知見や教訓を共有いただきます。また、今回の防災推進国民大会の開催地で、令和6年能登半島地震では支援を、そして平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨では、被災地として受援も経験した熊本県医師会にご参加頂き、シンポジウムセッションを行います。

本シンポジウムセッションは、「地域に根ざした医師会活動プロジェクト 第3回シンポジウム」として収録され、その動画の一部を「防災推進国民大会 2024」の日本医師会セッションとして配信いたします。

当該動画は、2024年10月19日（土）、20（日）に開催される「防災推進国民大会 2024」で配信され（日医セッションは 10月19日（土）14:30～16:00）、YouTubeの日本医師会公式チャンネルにもアーカイブとして掲載予定です。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組 2015-2030」（2015年3月「第3回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。

国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で9回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。今回の開催地は熊本県。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。日本医師会長が議員に就任している。